

平成20年11月7日

各位

上場会社名 株式会社 フライトシステムコンサルティング
 代表者 代表取締役社長 片山 圭一朗
 (コード番号 3753)
 問合せ先責任者 取締役 松本 隆男
 (TEL 03-3440-6100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,350	△100	△120	△130	△11,344.20
今回発表予想(B)	1,402	△252	△262	△237	△20,691.56
増減額(B-A)	52	△152	△142	△107	――
増減率(%)	3.9	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	1,560	△42	△56	△55	△4,935.67

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	150	100	36	3,141.47
今回発表予想(B)	3,450	65	25	25	2,182.26
増減額(B-A)	△150	△85	△75	△11	――
増減率(%)	△4.2	△56.7	△75.0	△30.6	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,514	24	5	△313	△27,526.29

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	700	△60	△70	△70	△6,108.42
今回発表予想(B)	715	△149	△148	△154	△13,449.07
増減額(B-A)	15	△89	△78	△84	――
増減率(%)	2.2	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	806	0	△11	△22	△1,964.12

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,000	120	100	58	5,061.26
今回発表予想(B)	2,000	120	45	25	2,182.26
増減額(B-A)	――	――	△55	△33	――
増減率(%)	――	――	△55.0	△56.9	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,981	113	101	△530	△46,625.68

修正の理由

1. 第2四半期累計期間

単体につきましては、従来から継続して受注している案件が比較的堅調に推移したこと、並びに4月～5月に戦略的に人員を10名程度採

用し、提案営業活動を活発化させたこと等により、当初予想通りの売上を確保する見込みです。

しかし、人員増に伴う販売費の一時的な増加の影響により、損益面では当初予想を下回る見込みです。

連結につきましては、上述の単体に加え、連結子会社であるYEMエレテックス株式会社の主要顧客である放送局自体の広告収入減少の影響等により、売上高は当初予想を若干上回りましたが、損益面では当初予想を下回る見込みです。

なお、YEMエレテックス株式会社においては、人員削減等のコスト削減を実施するとともに、当社のコンサルタントと連携した営業活動により下半期において順調に受注を積上げていることから、YEMエレテックス株式会社の下半期の損益は黒字化する見込みです。

2. 通期

単体につきましては、通期ではほぼ当初予想通りの業績となる見通しであるものの、後述するYEMエレテックス株式会社の通期業績に不透明感があるため、保守的に貸倒引当金を積み増し、経常利益及び当期純利益につきましては当初予想を下回る見込みです。

連結につきましては、YEMエレテックス株式会社において、上述の諸施策により下半期の損益が黒字化する見通しですが、厳しい経営環境の下、第2四半期累計期間において悪化した損益を当初予想まで改善させることは難しいため、売上及び損益は当初予想を下回る見込みです。

以 上